

平成26年第2回 日本救急医学会 女性医師参画特別委員会 議事録

日時：平成26年9月4日（木） 10：00~12：00

場所：日本救急医学会事務所

出席：

委員長 畝本恭子（日本医科大学多摩永山病院 救命救急センター）
委員 岡田昌彦（都立墨東病院 救命救急センター）
木田真紀（和歌山県立医科大学 高度救命救急センター）
木村昭夫（国立国際医療研究センター病院 救急科）
角 由佳（順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科）
本多ゆみえ（東海大学医学部附属病院 高度救命救急センター）
矢口有乃（東京女子医科大学附属病院 救命救急センター）
担当理事 田中 裕（順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科）

オブザーバー：行岡哲男（日本救急医学会 代表理事）

記：会に先立ち、木田真紀先生と本多ゆみえ先生が新委員として紹介された。

〈委員会議事と決定事項〉（検討順）

【議事1】第42回総会・学術集会における特別企画について

期日 10月30日学会3日目 13：20~15：20

セッション名：特別企画2：救急医療における女性医師参画の取り組みについて

形式：前半55分で基調講演、後半65分で参加者投票型意識調査（討論含む）

1. 基調講演（発表順）の概要を紹介

1. 日本救急医学会女性会員へのアンケート調査結果：角先生

アンケート集計結果とクロス解析から、女性医師が救急医を辞める要因が結婚、出産のみではないこと、もう一度救急医に復帰するために必要な事項などが見えてくる。データ量が多く、今回の企画の核となる発表なので時間も長めに必要

2. 女性救急医の働き方：「がんばれ!女性救急医—東京 ER 墨東の試み」：岡田先生

女性医師が働きやすいフト勤務制、チーム医療制により ER, ICU ともに経験できるシステムを紹介。病院としての女性医師支援も。

3. 女性救急医の働き方：当救命救急センターの女性医師
多くの女性医師が在籍する東京女子医科大学の試み：矢口先生が海外出張のため、並木みずほ先生に交代。
4. 他学会における女性医師参画の取組み：畝本
日本外科学会がまとめている日本医学会所属学会へのアンケート結果、大学医学部、日本医師会の取組みも紹介（9月26日に日本医師会主催の大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会があるため、これも参考に）
5. 救急医療学会への提言：国立医療研究センター 研究医療課 高岡先生国
女性技官としてのご経験も紹介しながら、政府の動き、医系技官における取組みなど。すでに発表データを送ってくださっている。

2. 基調講演の部の進行と時間配分

1. 女性医師参画特別委員会：今年発足した経緯を紹介 座長 5分
 2. 角先生の講演 15分
 3. 他の4講演 発表時間 各8分、確認事項などの質問 2分
- 計 60分

3. 投票式意識調査の部

1. 企画の進め方：各委員が提案した設問を、5問程度に絞って、投票し、それぞれにつき10分程度のdiscussionを行う。そこから抽出された問題点や対策案などを救急医学会に提言する。
2. 設問のキーワード（アンケート結果を参考に）：ロールモデル or キャリアパス、支援、労働環境、モチベーションの維持など。また、今後、専門医認定施設の要件に女性医師参画の取組が必須となる可能性もある。
3. 設問案
 - ① 救急医を続けられる労働環境ですか？（keyword: 労働環境）
 - ② 将来像として理想の救急医はいますか？（keyword: キャリアパス）
 - ③ ご自分の施設で、女性医師数は何割くらいが理想と思いますか？（keyword: 施設要件）
 - a. 不要
 - b. 0-10%
 - c. 10-30%
 - d. 30-50%
 - e. 50%以上
 - ④ 育児中の女性医師と仕事をする事について（keyword: 支援？モチベーション？）
 - a. 特に何も思わない

- b. 当直、休日出勤などの負担が周囲にかかるので避けたい
 - c. 当直、休日出勤できなくてもいてくれると助かる etc.
- ⑤ 男性に質問したいこと（現在、または未来の配偶者は医師？）他、次回までにメールで検討

④は、木田先生の施設内で、既婚・育児経験がある、または現在進行形の女性が、むしろ、育児中医師と働きたくないなどの意見が出たこともあり、提案。

議事 2 :

総会中の「男性も入れる女性ラウンジ」について

- 案内：
 - 第 42 回総会・学術集会のホームページ上に掲載済
 - 学会期間中、チラシを作成してランチョンセミナーや他学会のチラシなどのところに置かせていただく（300 枚作成）
- 場所：福岡サンパレス 2 階「末広」（エスカレータとエレベータの前の部屋）
 - シアタータイプ 66 席（サンパレスのサイト上、室内のレイアウトは変更可
 - 隣の和室で託児所設置予定
- 日時：10 月 28 日～10 月 30 日
 - 10 月 28 日、29 日は 10 時～17 時（12 時～13 時は閉室）
 - 10 月 30 日は特別企画のため午前中のみ
- 設備：椅子、テーブル、パソコン 5 台等、学会からのご提供確認済み
- 飲食物：お菓子、飲み物の学会からのご提供確認済み
- ラウンジでの企画
 1. 女性救急医の紹介スライド：現在、17 名の先生より同意をいただき、うち 8 名の先生からデータをいただいている。別に 2 名の先生が検討中。
 2. 施設紹介について：第 1 回委員会が出た施設紹介ブースは、今回の学術集会の企画にリクルート関連のものがなく、本委員会がそのような企画を行うことがそぐわないこと、時間を決めて希望施設を割り振っても参加者数の予測が難しいことから、見合わせるようになった。ただ、女性医師参画に積極的な施設の管理職の方々に、ラウンジの存在を周知し、パンフレット等をラウンジ内に置いていただくことはアナウンスする（学会ホームページのバナーに追加）
 - くつろぎ雑談コーナー：飲み物、洋菓子などを用意し、いろいろな施設、年代、女性・男性が自由に会話できるスペース
- ラウンジ担当者のタイムテーブル作成

会期中 3 日間、10 時～12 時、13 時～15 時、15 時～17 時（最終日は午前中のみ）の 7 枠の責任者（女性）を決定。さらに、昨年来室して名前をいただいた方や、委員の施設の女性医員などから協力していただける方を募集する。

● 議事 3

委員会企画の PR について追加

- 第 42 回学会ホームページ上にバナーを作っていた、内容を更新（開室時間と施設紹介の形式（パンフレット預かり、ラウンジ内でのフリートークの呼びかけなど）
- 女性会員にメールで通知する。
- 日本救急医学会のホームページにも学会活動報告のバナーを張っていただく。（委員会発足の経緯、委員会報告）

議事 4

次回第 3 回委員会開催について

- 平成 26 年 10 月 16 日（木）午前 10 時～正午 の予定
- この日までに、意識調査の、残りひとつの設問募集、委員会で決定
- 特別企画の流れ確認（スライド完成）
- ラウンジのタイムスケジュールと当日の連絡体制確認などを予定

以上。

文責 畝本恭子